

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

国鉄労働者の責務にかけて 9.16三里塚に起て！



社会党千葉県本部大会
二期工事阻止を決定！
(裏面参照)

日刊 労働千葉

79.9.9
全国版
No. 29

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二三五八〇九(公衆電話三三二七二〇七)

三里塚・ジェット闘争貫徹すべし。8月27日運動の突破口！

全国の動労組合員の皆さん。三里塚・芝山連合空港反対同盟は、森山運輸相のぎまみの「話し合い路線」を拒否し、9・16現地大集会を突破口に新たな決意をもって農地死守の闘いを進めています。三里塚二期工事阻止、空港実力廃港へ総力をあげて闘うことを明らかにしています。三里塚空港反対闘争は弾圧にも買収にも屈しない怒れる農民の執念をこめた一四年間におよぶ非妥協の闘いであります。考えてもみて下さい。政府・空港公団の理不尽な土地収奪、国家権力による暴虐な弾圧に抵抗し一四年間の長きにわたり非妥協の闘いを家族ぐるみで貫徹し、「空港廃港」へむけて未来永劫闘いの歴史のなかにこれほど国家権力を震かした闘いがあったてでありましょうか。この闘いに対し、動労「本部」反動集団は「三里塚闘争は労働組合とは無縁だ。三里塚闘争は謀略」等と悪言をなげかけ「反対同盟と一線を画す」なる敵対方針を今日も継続していることに対しわれわれは、動労の変質を糾し、動労運動の戦闘的復権、動労大改革を実現させる立場から労働者の良心にかけて絶対に許さず闘わなければなりません。

「農地死守・空港絶対反対」こそ全く正当・正義の声

あらゆる困難に耐え、農地を死守し続ける農民を見殺しにして労働組合の明日があるでしょうか。ましてや戦闘的労働運動を標ぼうする労働者(労働組合)であればあるほど、三里塚農民とそこに結集する労働者人民の闘いをあれこれと批判する前に、自らが、空港建設を強行する権力と対決し、権力の暴虐に抗して闘う農民の側に立つことこそが、労働者(労働組合)のとるべき道であります。三里塚闘争の原点はまさにここにあるといえます。動労千葉一四〇〇組合員は権力の暴虐に抗して闘う農民の側に立ち、労働組合の立場から三里塚・ジェット闘争をもって、真に生き生きとした労農連帯の闘いを創りあげてきました。この闘いを継承し発展させてきたからこそ、動労千葉一四〇〇組合員は、動労「本部」反動集団のあらゆる組織破壊攻撃を粉砕し、組織的団結が強化され、動労千葉にたいする支援・連帯の輪が全国的に拡大しているのです。

「労農連帯の否定」は産業報国会化への道

動労「本部」反動集団の「三里塚反対同盟に一線を画する」方針は、三里塚農民のたかひを敵視し、これを否定する(解体する)ことを路線化したものであります。この方針は、三里塚農民ばかりか、女川、柏崎などの原発反対や新関西国際空港反対、あるいは、軍事基地・演習による生活破壊と永年にわたって闘いぬいている日本原農民

や佐世保・沖繩の人々等に代表される全国の地域住民闘争の全てに敵対する方針に他なりません。現に津山大会以降、今日にいたるまで動労「本部」反動集団は、全国の闘う労働者人民・知識人・住民団体のほとんどから弾劾され、そっぽをむかれてしまっているではありませんか。動労がこれ以上革マル反動集団に私物化され、三里塚敵対を続けるかぎり、国家権力の空港建設の先になるものであり、動労を産業報国会への道へ突き落とすものであります。

国鉄労働者の真髄をかけ9・16に決起しよう

全国の動労組合員のみならず、森山運輸相が策動する、「国鉄三五万人体制攻撃、三里塚二期工事強行攻撃」に対決し、決起する闘いこそ、全人民的課題であり八〇年代労働運動の突破口を築く闘いです。三里塚に敵対し、労農連帯を否定し、「貨物安定輸送」と「政策要求闘争」を主張し合理化全面屈服路線の道を歩む、動労「本部」反動集団にこれ以上動労をゆだね破壊させてはなりません。一刻も早くこのような誤った路線を正し、動労大改革運動を前進させ、労働の真の戦闘的再生をなにとしてもかちとろうではありませんか。

私たちは、国家権力の暴虐に身体をはって闘う農民を最後まで支援し、闘います。私たちは、政府・公団の手先になって、農民に敵対するジェット燃料の貨車輸送を必ずや断ち切り闘いぬくことをはっきりと宣言します。わが動労千葉は、国鉄労働者の責務と労農連帯の真価をかけて9・16三里塚現地に総決起します。共に闘いましょう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！